

NEWSLETTER No.83 ISSN 1340-5578  
TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ  
The Society for Research in Asiatic Music September 5, 2011

社団法人 東洋音楽学会 会報 第83号

発行 (社)東洋音楽学会  
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152  
●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: http://www.soc.nii.ac.jp/tog/

## 目次

第42回 通常総会のお知らせ	1	東日本支部からのお知らせ	3
総会への出席と書面議決書提出のお願い	1	会員異動	4
第62回 大会のご案内	2	図書・資料等の受贈	4
第29回 田邊尚雄賞アンケートのお願い	2	新刊書籍	4
会費納入のお願い、会費割引制度のお知らせほか	3	新発売視聴覚資料	5
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	3	編集後記	5
ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ	3		

### 第42回 通常総会のお知らせ

2011年9月1日

社団法人東洋音楽学会 会員各位

社団法人東洋音楽学会 会長 金城 厚

#### 第42回通常総会招集状

社団法人東洋音楽学会定款第23条及び第26条の定めに基づき、第42回通常総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

#### 記

日時 2011年10月8日(土) 16時40分～17時50分

場所 京都教育大学 講堂

#### 審議事項

- 第1号議案 定款変更の件
- 第2号議案 2010年度事業報告の件
- 第3号議案 2010年度収支決算の件
- 第4号議案 2011年8月31日現在財産目録および貸借対照表の件
- 第5号議案 2011年8月31日現在会員異動状況の件
- 第6号議案 2011年度事業計画の件
- 第7号議案 2011年度収支予算の件
- 第8号議案 その他

・総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」の提出をお願いしています。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書提出のお願い」をご熟読ください。

・上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

### 総会への出席と書面議決書提出のお願い

正会員のみならず、総会への出席は社団法人の会員の権利であり、責務でもあります。総会の成立には、会員の3分の1以上の出席が必要です。何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

総会に欠席する場合、定足数として出席とみなされるためには、「書面議決書」の提出が必要です。書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、9月24日までに学会のホームページに掲載されます。

理事会では、9月24日までに書面議決書を電子メールにて配信しますので、欠席する会員は、**個々の議案への賛否を記入して返信してください**。配信先は、学会に届けてある(会員名簿に掲載の)アドレスです。変更した人は必ずお知らせください。

インターネットを使わない会員には、9月末までに郵送で

議案書をお届けしますので、それに同封する「書面議決書」に賛否を記入して返送してください。

電子メールを使用するか、郵送を希望するかは、大会プログラムといっしょに届けられる「大会参加申込みハガキ」に希望を記入する欄がありますので、それにてお知らせください。

## 第62回 大会のご案内

東洋音楽学会第62回大会を、同封のプログラムの通り、京都教育大学藤森キャンパスにおいて開催します。

第1日(10月8日)の午前には、京都教育大学の教育資料館「まなびの森ミュージアム」が特別公開されます。建物は旧陸軍第19旅団司令部を改装した施設で、2010年(平成22)年に、明治9年創立の師範学校以来所蔵されてきた教材・教具・作品などを紹介する展示室として生まれかわりました。1909(明治42)年製の足踏みオルガンや教育楽器、インドやインドネシアの大正琴など個人の収集による世界の楽器約120点のほか、理化学実験器具、生物・地学資料、美術資料、考古学的資料などが展示されており、本物のミイラの一部を見ることもできます。

午後には、本大会テーマ「日本に息づくアジア音楽」に即して「日本に息づく韓国音楽」と題する公開講演会を行います。これは、日本で活躍する4名の韓国人演奏家・舞踊家による韓国伝統芸能公演と、それに続くラウンドテーブル「日本で活動する韓国人芸術家に聞く」から構成されます。ラウンドテーブルでは、公演を終えられた出演者の方々に、日本で活動する韓国人として、どのように韓国の伝統音楽・舞踊に向き合ってこられ、何を目指しておられるかを中心にお話をうかがいます。日本国内における韓国人の音楽活動は、すでに一世紀に近い歴史をもっており、急速に多文化化が進む現代日本の音楽状況の将来に大きな示唆を与えるものといえます。

第2日(10月9日)は、大会テーマに沿って実行委員会が企画したシンポジウム「日本に息づくガムラン音楽」と、多彩な内容からなる個人研究発表の、計15本の発表が行われます。多数の会員の皆さまのご参加をお待ちしています。

### ◎出欠の回答

同封の返信がきの各欄にもれなくご記入の上、9月22日(木)必着でご返送下さい。やむを得ず総会に出席できない方は、返信はがきの下欄の総会議案書に対する意思表示の方法(メールまたははがき)を選択記入して下さい。

### ◎大会参加費、懇親会費、昼食代の納入

必ず同封の払込用紙にて、9月22日(木)までにご入金下さい。お支払いいただく項目とそれぞれの金額は次の通りです。

#### 大会参加費

正会員 1,000円(学生会員も同じ)

※当日支払の場合、1,500円になりますのでご注意ください。

懇親会費 4,000円(学生会員2,000円)

第2日目の昼食代(お弁当とお茶) 800円

\*同封の払込用紙は大会専用のもので、学会費の納入にはお使いにならないようにお願いします。

\*期日を過ぎてご入金された方は、必ず受領証をお持ちになり、受付にてご提示下さい。

\*大会2日目の昼食のお弁当(お茶付き)は、期日までに、返信はがきにて注文の上、払込用紙にて代金をお支払いいただいた方のみご用意します。予約のない方への販売はおこないませんのであらかじめご了承ください。会場より10分ほど歩きますと飲食店やコンビニがありませんので、お弁当のご注文をおすすめします。

\*大会実行委員会では宿泊所の斡旋はおこないません。京都は観光地のため、お早めの予約をお勧めします。京都市内に宿を確保できない場合、京橋までの京阪線沿線、大津、高槻、新大阪などの近隣駅の宿が次善の候補になります。

\*プログラムの再配布はありませんので、当日は、同封のプログラムを忘れずにご持参下さい。

## 第29回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

第29回田邊尚雄賞は、下記の要領で選考、授与されます。選考の対象としてふさわしい会員の業績について、情報を募集いたします。自薦他薦を問いません。

対象となる業績:2011(平成23)年1月1日から12月31日までに発行されたもの。

アンケート募集期間:2012(平成24)年2月7日(火)正午まで。

アンケート記入事項:著者名・著書名・発行年月日・発行所名。なお、論文の場合は、上記に加え、掲載誌名・巻次・編集者名・論文頁数を記入してください。

アンケート送り先:

(社)東洋音楽学会第29回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送)〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3三春ビル307号

(FAX) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員: 岡崎淑子、ジェラルド・グローマー、薦田治子、  
高松晃子、田中多佳子

## 会費納入のお願い、大学院生・研究生会費割引 制度のお知らせほか

### 1. 会費納入のお願い

2011 年度の会費請求書と振替用紙を別便で郵送いたします。また滞納のある方にも滞納分の請求書を発送済みです。請求書の金額をお確かめの上、お申し込みください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

### 2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページでご確認の上、お申し込みください。

### 3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

### 4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表をもって会員に登録され、以後は退会届の提出がない限り、年度会費の納入義務が発生いたします。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

## 『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第 77 号(2012 年 8 月刊行予定)の原稿を募集します。

投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載した「投稿規定」および、学会ホームページに掲載している「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください(学会ホームページをご覧になれない場合は、機関誌編集委員会にご請求ください)。

送付先:

〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43

独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所  
無形文化遺産部 高桑研究室気付 東洋音楽学会機関誌編集委員会  
(封筒に「機関誌投稿原稿在中」と明記)

送付方法: プリントアウトした原稿を郵送すること。ただし、書留郵便にはしないこと。直接持参、またメール添付では受け付けない。

締め切り: 2011 年 12 月 16 日 (金)

## ICTM(国際伝統音楽学会)に関する お知らせ

### 1. 第 3 回 ICTM 東アジア音楽研究会 (通称 MEA) の お知らせ

今回の MEA (Study Group for Musics of East Asia) の大会は、2012 年 7 月 31 日 (火) ~ 8 月 2 日 (木) に香港中文大学 (Chinese University of Hong Kong) にて行われることになりました。詳細は未定です。

### 2. 第 4 回 ICTM 東アジア音楽研究会 (2014 年) の主催 機関の募集

これまでに MEA の大会は、台湾、中国、韓国で開催されました。次回 (2012 年) は香港で開催予定です。2014 年度 (第 4 回) の大会開催地として、日本への期待が高まっています。会員の本務校等で、国際会議の誘致に積極的なお考えをお持ちの大学や研究所がありましたら、担当委員 (minako.waseda@gmail.com) まで、是非、情報をお寄せください。よろしくお願いたします。

### 3. ICTM 担当委員からのお願い

#### 1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の皆様のうち ICTM 会員に対して、担当委員より不定期に ICTM に関連するお知らせを一斉送信しています。現在までに一斉メールを受信されていない方、また現在 ICTM 会員でない方で、今後 ICTM に関するメール連絡を希望される場合は、担当委員 (minako.waseda@gmail.com) までお知らせください。

#### 2) ICTM 関連の情報提供について

報告者が ICTM 東アジア音楽研究会のメンバーであるため、同研究会に関する情報は会報、機関紙、一斉メール等で皆様に随時お知らせしていますが、他の ICTM 内の研究会については情報薄です。他の研究会に所属している会員の方からの情報を募集します。お寄せいただいた情報を東洋音楽学会員に発信します。ご協力よろしくお願いたします。

## 東日本支部からのお知らせ

東日本支部では、12 月と 2 月の定例研究会での研究発表を募集しております。

発表を希望される方は、発表種別 (研究発表・報告等)、発表題目、要旨 (800 字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先 (住所、電話、Fax、E-mail) を明記の上、12 月例会については 9 月 10 日までに、2 月例会については

11月10日までに、下記の東日本支部事務局までお申し込みください。

〔東日本支部事務局〕  
〒110-0005 台東区上野 3-6-3 三春ビル307号  
東洋音楽学会東日本支部事務局  
E-mail : tog.higashi@gmail.com

## 会員異動

(2011年7月 その他変更は新会員名簿(機関誌別冊)をご覧ください)

会員異動は、個人情報保護のため削除しました。

◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です)

◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)

◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

## 図書・資料等の受贈

(2011年5月～7月、到着順)

☆は寄贈者(発行者と同一の場合は省略)

『楽道』5, 6, 7月号 正派邦楽会  
『民俗芸能研究』第50号 民俗芸能学会  
『演劇映像』第52号 早稲田大学演劇映像学会  
『高田中学校高等学校研究紀要』第25号  
高田中学校・高田高等学校 ☆山口淳有

## 新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

『天野社舞楽曼荼羅供』 遠藤徹、岩田書院、7,770円  
『奄美民謡総覧』  
セントラル楽器奄美民謡企画部編、南方新社、8,190円  
『異界を旅する能：ワキという存在』  
安田登、筑摩書房、777円  
『いのちもやして、たたけよ。』  
鼓童文化財団、出版文化社、2,100円  
『音の歳時記：四季折々の日本音楽』  
釣谷真弓、東京堂出版、2,000円  
『加戸流昭和歌謡抄 上』 文芸広場社、2,300円  
『加戸流昭和歌謡抄 下』 文芸広場社、2,300円  
『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集 第二期』(10セット)  
玉川大学出版部、23,000円  
『切合能の研究』 伊海孝充、檜書店、11,550円  
『芸と人：戦後歌舞伎の名優たち』  
織田紘二、演劇出版社、1,995円  
『芸のこころ』  
坂東三津五郎(8世)、安藤鶴夫、三月書房、2,100円  
『源氏物語と音楽』 日向一雅、青簡舎、2,940円  
『最後の万歳師：尾張万歳家元五代目長福太夫北川幸太郎』  
日川好平、風媒社、1,470円  
『調と都市：能の物語と近代化』  
小野芳朗、臨川書店、2,730円  
『新ジュニア音楽辞典』  
繁下和雄、山下薫子、音楽之友社、1,890円  
『世阿弥の能楽論』 尾本頼彦、和泉書院、10,500円  
『徹底検証・日本の軍歌』 小村公次、学習の友社、2,520円  
『日本の合唱史』 戸ノ下達也、横山琢哉、青弓社、2,100円  
『能・狂言事典 新版』 西野春雄、羽田昶、平凡社、6,825円  
『能大和の世界：物語の舞台を歩く』  
松岡心平、山川出版社、1,890円  
『花とフォルムと：転換する時代の歌舞伎評論』  
中村哲郎、朝日新聞出版、4,200円  
『文楽の家』  
竹本源大夫、鶴澤藤蔵、田口章子、雄山閣、2,100円  
『謡曲画誌 影印・翻刻・訳註』 勉誠出版、15,750円  
『謡曲入門』(講談社学術文庫) 伊藤正義、講談社、1,102円  
『乱曲考』 小倉正久、著檜書店、5,250円  
『和太鼓をはじめよう！(第3巻)いろいろな打ち方に挑戦』  
西川啓光、汐文社、2,100円  
『私の花伝書』 末木利文、作品社、2,100円

『我、狂言たれ：又三郎家の楽屋裏でござる』

野村又三郎、風媒社、1,470円

## 新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

### ●DVD

『NHKふるさとの伝承～ジブリ学術ライブラリー』(23枚組DVD-BOXセット) NHKエンタープライズ、55,440円

『歌舞伎座さよなら公演』2～7(全8巻)

小学館、各26,250円

『五体風姿』

檜書店、4,200円

『東京・邦楽コンクール2010』

日本伝統文化振興財団、3,500円

### ●CD

『奄美しまうたの原点／中山音女：幻の名盤の復刻』

VZCG-8474、5,000円

『加賀山昭：傑作集』

VZCG-745、2,500円

『箏・三弦：古典／現代名曲集(二十二)』

中島靖子、正派邦楽会、VZCG-747、2,940円

『THE 聲明(SHO-MYO)/高野山南山進流「奮」』

稲葉法研、VICL-63715、2,625円

『THE 聲明(SHO-MYO)/高野山南山進流「癒」』

稲葉法研、VICL-63716、2,625円

『芝祐靖の音楽 古典雅楽様式による雅楽組曲「呼韓邪子」：王昭君悲話(1999)』

VZCG-748、3,000円

『芝祐靖の音楽 復元正倉院楽器のための敦煌琵琶譜による音楽』

VZCG-749、3,000円

『箏曲『六段』とグレゴリオ聖歌『クレド』監修・解説・指揮：皆川達夫』野坂操壽(箏)、中世音楽合唱団、神戸榎樹美 ヴィオラ・ダ・ガンパ合奏団ほか

VZCG-743、3,150円

『通り雨「深川三題」のうち 春日とよ栄芝の小唄』

VZCG-744、2,940円

『中島勝祐作品集(三)：松・竹・梅』

VZCG-750、3,150円

『藤原道山：10th Anniversary コンサート「讃-SAN-」』

COCQ-84902、2,300円

『山田流箏曲：萩岡未貴』

VZCF-1026、3,150円

『雪間草：山本真山作品集Ⅱ』

VZCG-751、3,000円

『六代目尾上菊五郎 歌舞伎名場面集』JXCC-1067、2,520円

## 編集後記

◇本号は、第62回大会プログラムと一緒にお届けいたします。大会開催日が例年よりかなり早く、そのため会報の発行も早まりましたことをご了承ください。

◇京都での大会では、通常の研究発表に加え、意欲的なプログラムが用意されています。会場校の施設の特別公開もあり、貴重な資料の展示を見る機会も設けられていますので、ぜひともご参加ください。なお、2ページの大会実行委員会からのご案内にもありますように、日本有数の観光地であることに加え、大会期間が3連休にかかっていますので、お早目に宿泊を手配されることをお勧めいたします。◇会報第82号が一部の会員に届いていないことが判明しました。会員各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。(横井)

### 会報編集委員

理事：高松晃子、横井雅子

参事：荻野珠、重田絵美、柴田真希、橋本かおる、星野厚子、柳澤久美子、山口かおり